

東成の歴史

シリーズ No.2

“東成の行政のうつりかわり”

大阪府文化財愛護推進委員
東成区コミュニティスクール“歴史シリーズ”講師

友田 譲

当区行政の沿革をたどると、南北朝時代の正平6年(1352年)四天王寺秋の坊日記に「新開荘」……云々の記事あり、この新開荘は現在の東成区の大半をしめ、当時は四天王寺の所領であったことがうかがわれます。

豊臣時代の文禄3年(1594年)秀吉の検地の際、この新開荘の荘名は廃され、徳川時代に入り当区内の各村は、幕府直轄地又は大坂城代の知行地として支配(第1図)され、大坂鈴木町及び谷町の2ヶ所に代官所が設けられ、明治維新迄の二百数十年にわたり司農行政に当り、各村においては庄屋・年寄・百姓代の村方三

役により村々のとりまとめが行われてきました。

明治5年新政府により戸長役場制度となり、当区は第五大区大二小区に編入せられ、凡そ一萬石内外を一小区とし区長一名を置き、大阪府管轄下に区長戸長役場が置かれ、各村々には村用掛を置き各種行政が行われました。

明治22年憲法発布とともに法律第1号として市町村編成法が公布され、当区は東成郡役所(四天王寺秋の坊の跡で現天王寺区六萬体町)の所轄の下に、合併村となり新村名(第2図)で発足し、その後多少の変遷を経て大正14年に大阪市に編入され、「東成区」の誕生を見るに至りました。

江戸時代(江戸初期～明治4年)

(第1図)

村名	現校下	支配関係	石高
森村	北中道	徳川代官	349(石)
中道村	中道	〃	451
本庄村	中本	〃	805
西今里村	東中本	大坂城代	232
中浜村			
深江村	深江	京都所司代	532
東今里村	宝栄	大坂城代	766
大今里村	今里・神路	徳川代官	456
東小橋村	東小橋	〃	980
片江村	片江	大坂城代	107
猪飼野村	大成	〃	456

●注 現校下は凡そあてはめたもの

合併新村(明治22年～大正14年)

(第2図)

新村名	合併村名
鶴橋村	東小橋村、猪飼野村
中本村	本庄村、中道村、中浜村、西今里村、森村
南新開荘村	東今里村、大今里村、深江村
小路村	片江村

●注 大正元年 鶴橋、中本両村は町制実施
大正5年 南新開荘村は神路村と改称

ご意見、ご希望は…… 市立東成会館(叻東成区コミュニティ協会) TEL6972-0717 FAX6972-0838
Eメールアドレス: enarik@mbox.inet-osaka.or.jp